

## お金には変えられない命

三年 石田優月

### 「78円の命」

そう言われてなんの事かすぐに分かる人は少ないでしょう。「78円」とは、動物一匹を殺処分するのにかかる費用です。命の価値がたった78円でしかないように思えて、胸がはりさけそうになりました。

殺処分がどのようなことか知っていますか。まず、ネットで「殺処分」と調べると「殺処分とは、人間の利害に基づいて動物を殺すこと。人間に危害を及ぼすおそれがある動物や、不要となった動物が対象になる。」と書いてあります。「不要となった動物」という言葉に私は怒りを覚えました。命を持っている尊い動物なのに。物ではないのに。動物に対する概念を変えるべきだと思います。

殺処分がどのように行われているか知っていますか。殺処分はドリームボックスと呼ばれる箱の中で、二酸化炭素ガスを充満させ窒息死させます。当然ですが、苦しんで死にます。殺処分される犬は、自動で移動する檻の壁に追いやられ、ドリームボックスの中へと強制的に追い込まれていきます。飼い主のもとで幸福に一生を終えることができたはずの健康でかわいいペットたちが悲惨な方法でその生涯を終えているのです。

私は、動物がすぐくすぐく好きです。将来の目標は殺処分をゼロにすることです。とてもむずかしい事だということは分かっています。でも、罪のないかけがえのない尊い命が一年に犬、七六八七頭、猫、三〇七五七頭もなくなっているこの現状をほっとくことはできません。ですが、この現状を私一人で変えるのは不可能だと思います。この現状を変えるために必要なのは、たくさんの人に今の事実を知ってもらおう事だと思います。たくさんの人に知ってもらおう事で、捨て猫、捨て犬が減る事につながったり、ペットを飼う時にペットシヨップだけでなく保健所から引きとるという選択肢を知ってもらい、少しでも殺処分数を減らすことにつながったりでしょう。たくさんの人に知ってもらおうために、この作文をたくさんの人に読んでもらいたいです。

「78円の命」は実際にはお金には変えられないほどの価値があります。簡単にうばっていいものではありません。かけがえのない、尊い命をすくうために現状を忘れず、私のできる「たくさんの人に現状を伝える」と「今飼っているペットを大切にする」を全力でとり組んでいきます。